

令和2年度 四国山地緑の回廊
(剣山地区)
モニタリング調査 報告書
(要約版)

令和3年3月

四国森林管理局

特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター

四国山地緑の回廊 剣山地区

管轄森林管理局・署	四国森林管理局・徳島森林管理署・高知中部森林管理署 ・安芸森林管理署
所在地	三好市、那賀町、大豊町、香美市、馬路村、安芸市
面積	約 9,191ha
設定年	平成 15 年 3 月
緑の回廊の概要 (設定目的)	剣山を中心にして東西、南方面にのびる国有林野をつなぐ延長約 58km、幅約 2km の回廊である。西熊山生物群集保護林をはじめとする 8 箇所の保護林を結ぶ。設定面積は、約 9,191ha で、結ばれる保護林（約 1,376ha）を合わせると、約 10,567ha になる。



モニタリング調査概要

実施年度	令和 2 年度
調査項目	森林調査、動物調査
調査手法	森林調査では林分構造調査を実施。動物調査では、自動撮影カメラ、巣箱を設置し出現種等を記録とともにフィールドサイン調査、コウモリ調査を実施した。その他に鳥類相把握のため、ラインセンサス及びスポットセンサス調査を実施した。
結果概要	調査対象地域はブナ、ミズメ等が優占する森林であり、天然林が多く含まれていた。動物調査では、ニホンモモンガやツキノワグマ、クロホオヒゲコウモリ等 15 種類の哺乳類、ハイタカやコマドリ、ルリビタキ等が確認された。ニホンジカによる森林植生への影響が大きいいため、今後の森林環境の変化に注意が必要である。

